

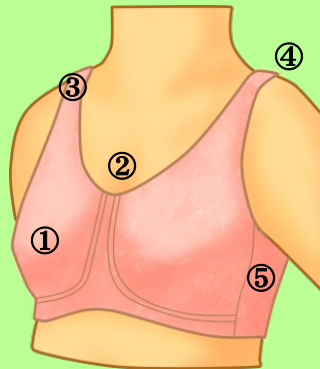
6 乳がん用下着・パッドの特徴と種類

乳がん用の下着・パッドと言っても、患者さんの体の状態や手術後の経過によって選択できる下着やパッドが異なります。これから乳がん用の下着・パッドの一般的な特徴とその種類について説明します。

【 下着の特徴 】

一般的な特徴を以下に示します。

- ① 乳房全体を包み込むようなカップ
- ② 胸元の開きが少ない
- ③ 肩ひもは幅が広く、肩に強い圧迫がかからない
- ④ 調整金具は傷に当たらないように、背中にある
- ⑤ アンダーバストは幅が広い



【 下着の種類① 種類の一例 】

下着の種類は複数あります。手術後の経過とそれぞれの特徴を考えて、体にあったものを選びましょう。

〔手術直後に着用するタイプ〕



傷を刺激しない作り
になっている

〔前開きタイプ〕



楽に着脱ができる(腕の動かし
にくさをカバーする)

〔キャミソールタイプ〕



胸元が隠せ、締めつけ感も
少ない

〔裏にポケットがあるタイプ〕



カップや肩ひもの裏にパッド
を入れることができる
サイズがあれば、和装用ブラ
ジャーで代用することもできる

〔レースで隠せるタイプ〕



胸元をレースで隠せる

〔ソフトワイヤータイプ〕



刺激を少なくするために、
ワイヤーが外側についている

【 下着の種類② 胸元の開き具合 】

手術の傷やくぼみを隠せるように、傷の大きさや位置を考えて選びます。

狭い



広い



【専用パッドの種類と特徴】

パッドにはシリコンタイプや綿・ウレタン・スポンジタイプ、ジェルタイプの種類があります。一般的には手術後の経過に合わせて、形や重さを考えて選びます。

シリコン



- 感触が乳房に近い
- 重さがある
- 通気性に関しては期待できないものが多い

綿・ウレタン・スポンジ



- シリコンタイプに比べると安価
- 洗うことができる
- 重さがない

ジェル



- 形をある程度自由に变化させることができる
- 通気性はない

これらのパッドは、下着のポケットに入れたり、下着と皮膚の間に挟んだりするなどして使用します。またシリコンパッドの中には、皮膚に直接つけるタイプがあります。選択には手術後の傷への負担や刺激を避けることがポイントです。手術の傷が治るまでは、軽いもの、皮膚に直接貼らない、通気性のよいものを選んでください。なお、皮膚に貼れるパッドについては、次ページを参照してください。

【 皮膚に貼れるパッドについて 】

皮膚に貼れるシリコンパッドは、仕事や運動などで体を動かす時に使用されることが多いようです。ここでは、使用する時に注意をしていただきたいことについて少し補足説明します。

- 手術の傷が治ってから使用しましょう
- 装着中に発赤やかゆみなど、皮膚の異常が生じたら使用はやめましょう
- 長時間の装着は、皮膚に負担をかけます
睡眠中は外すとよいでしょう
- 入浴には対応していないので、お風呂に入る時は外してください
- 保管は、購入時の専用ケースに保管するとよいでしょう
- お手入れの方法は、製品によって異なるので、購入時に確認することを忘れないでください

